

「水との付き合い方」

地球上にある水の97%は海水で残りの2.5%が淡水です。このうち地表にあつて飲料水としてすぐに使えそうな湖、川、雨水などは0.4%しかなく、私たちが生きるためには全然足りないのです。

しかし、地下にはたくさん淡水があり、井戸水は水を得る大切な手段なのです。私の家でも水道水として井戸水を使つていて、夏にはその水を飲む事もあります。

「井戸水を飲んでるの？」

と聞くと菌が混じつて居るのか心配になりました。そこで私は父に、

「うちの家で飲んでる水って菌とか混じつてへんの？」

と、聞きました。すると父は、「大丈夫やで。しっかり最近の点検してもらつてるから。」

山添村立山添中学校 三年

井窪 芽衣

と、教えてくれました。よくニュースで地下水汚染という言葉が聞きますが井戸水はきちんと点検すると問題ないということを知り、とても安心しました。

そして、井戸水には良い点がたくさんあると思うのです。井戸水というのは井戸からくみ上げている地下水なのでお店で売っているミネラルウォーターと同じようなもので、殺菌をしなくても、自然によつてろ過されている。自然の水なので、水道水とは違って汚染を防止するための薬品が用いられていないので、ミネラルがたくさんつまつていてとても体に良いです。

日本は世界の中で降水量が多い地域に分類されます。では、水の自然循環によつて淡水を容易に手に入れることができます。また、山地が多いため高いところに降つた水を低い

ところにある地域に容易に届けることができず。しかし、急な斜面の多い地形により、これを貯めておくのが難しいのが日本の現状です。毎年のように洪水問題が起きたり豪雨による洪水や土砂災害が起こるのは、日本の独特な地形が原因の一つにあるのです。私たちは日本に住んでいるのでそのような自然環境ともうまく付き合っていないといけないのです。

そこで、私はやはり井戸水をもっと多くの人が使っていくべきだと思います。日本人ひとりが日常生活で一日に使う水の量は、二百リットル以上といわれています。このうち飲食に使うのは28%で、あとは入浴32%、洗濯22%、トイレ18%、合計すると百四十四リットル以上が生活用水として使われています。この中から水道水の必要がないトイレを井戸水で流すだけでも、20%近くの使用量が減るのです。この他にも井戸水の使い道はたくさんあります。例えば、井戸水の「夏は冷たく冬は暖かい」という特徴をうまく利用すると、寒い季節に浴槽の水として使えば、水道水より水温が高いので早く沸くことができるので

ガス代の節約になります。暑い季節で、屋根に井戸水をまいて冷やすことで、家の中の温度を下げることができ、エアコンの電気代の節約になります。

人々は、身近な生活や、農業、工業など多くの場面で便利に水を使っています。しかし、洪水や水不足の問題もかかえています。日本。自然が生み出したミネラル豊富な水” “そんな井戸水を私たちは、この限りある貴重な水資源を未来に引き継ぐため工夫して利用していくべきだと思います。